

編集後記

■：昨年夏は稀に見る酷暑に見舞われ、今冬は厳しい寒さ。オーストラリアやブラジルなど大洪水も。菅首相に言わせれば「日本は崖っぷちにある」そうで。政治家たちが勝手に思い込んでいるだけで一般の人たちは多少の気候の変動にも堪えてまじめに働いているだけ。小沢某こそ政治的崖っぷちに立っているんじゃないですか。強制起訴で一巻の終わりということ。

■：国際金融市場の動向が「全体として安定を保ってきている」そうですが、白川日銀総裁の言（1月17日）ですが、日本の経済は「緩やかに回復しつつあるものの、改善の動きに一服感がみられる」とのご託宣。まあいいでしょう。ヨーロッパの主要各国は財政赤字でヨタヨタ、日本は赤字慣れで開き直りの構え。今後の回復基調が待たれます。

■：ドルが基軸の国際通貨制度に中国の胡錦濤国家主席が「現行のシステムは過去の遺物」と切り捨てています。今の世界的な金融制度が統制を欠き、欠陥だらけともいいたいのでしようか。今後は中国が主導

権を握って「フェアで公正、包容力があり、よく統制された組織」を提案していくそうです。政治思想は共產主義でも現実の商売となると中国人ほど優秀？な人間はいないでしょう。何処まで期待して良いものか、さっぱり見当が付きませんがね。

■：自由主義の国フランスの思想家で経済学者ジャンク・アタリ氏が「日本の財政赤字は欧州よりも深刻。世界を危機に巻き込むこともあり得る」と不気味な発言。1400兆円の個人の金融資産も「公的債務をまかなうために使われる」とも言っていますが、この人、ヘンなお節介焼き。自国が財政赤字、人種偏見、移民問題などの難問をよけい抱えていることをご存じないのでしようか。まあ、この予言「アタリ」になると困りますが…

■：この時期、大学生の就職問題が話題になりますが、予想した通り1月17日現在で68・8%の内定率、ここ数年で最低とか。景気動向うんぬんよりも若者に関する悪いデータはやはり悲しいですね。これこそ企業努力で出来るだけ多くの若者を採用して育てて欲しいものです。職場に若手がいるとこないでは毎日の業

務に大きく差が出るもの。

■：カゼが流行しているそうです。とくに小さな子どもたちは要注意。

過去にスペイン風邪（1918年）、アジア風邪（1957年）、香港風邪（1968年）が世界を襲いました。横文字でいうとインフルエンザ・パンデミック（大流行）というらしいですが、ありがたいことに今は有効な抗インフルエンザ薬があり、ワクチンも潤沢だそうです。免疫獲得率も日本人の場合すいぶん高まっています。10代で60%以上。ただ5歳未満や50歳以上は10〜20%といいますが、幼児や年寄りには気をつけねばなりません。

■：犯罪件数（刑法犯）がグリーンと減少しているそうで、ただ毎日のニュースを見ると火事が各地でやたら発生しています。焼死件数が増えているのが気になります。家屋構造のせいもあるのでしょうが、昔の人は「火が出たら何も持たずに逃げ出せ」と教えたものです。やはり高齢者が逃げ遅れている。「地震、雷、火事、オヤジ」とは良く言ったもので、火事は人災の最たるもの。オヤジのあつかいはどうにでもなるでしょうが、まずは火の用心ということ。

月刊公論 MONTHLY
KORON

3月号 第44巻3号

平成23年3月1日発行 毎月15日発売
定価890円(本体848円) 送料92円

発行人
発行所

印刷所
取次店

大 中 吉 一 編集人 田崎義信 土井正彦
株式会社社界通信社
〒160-0008東京都新宿区三栄町25ボナフラワービル
TEL.03-5379-5611代、FAX.03-5379-5616
株式会社廣済堂
トーハン/日本出版販売/大阪屋/栗田出版販売

●直接ご購入をご希望の方は、本社までお問い合わせ下さい。
●万一、乱丁、落丁などの不良品がございましたら、お取り替えいたします。